

新年賀謹



町長
西江 栄二

町民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。夢と希望を新たに、平成28年の輝かしい新春を皆さんと共に迎えることができましたことを、大変うれしく思います。

昨年1月28日に町長の職に就き、町民の皆さんや町議会、関係機関からの温かいご理解とご協力をいただき、町政の円滑な推進を図ることができましたことを改めて感謝申し上げます。さて、昨年は、本格的な少子高齢化社会に突入し、人口減少の問題に真正面から向き合うため、人口ビジョンや地方版総合戦略策定への対応や事業推進に奔走しました。



町議会議員
鈴木 保昭

新年、明けましておめでとうございます。俱知安町議会を代表して町民の皆さんへ、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、アベノミクスによる経済効果や地方再生など話題の多い中、俱知安町では北海道新幹線の鹿の子トンネル（俱知安町高見）の工事着工をはじめ学校給食センターの着手（2017年4月稼働予定）、統合保育所基本設計（2018年8月開所予定）、さらにニセコひらふの新しいホテルなどの開業、花園のリゾートホテルの開発計画の発表など、また新しい息吹がみられました。多くの外国人がこの町

また、かねてからの懸案であった新給食センターの工事に着手し、28年度末の完成を目指しています。さらに、3幼稚園との協議が整い、統合保育所整備に向けた基本計画に着手しました。一日も早い子育ての充実に向けた取り組みを実施します。

子ども医療費助成では、初診時一部負担を除く無料化の対象を中学卒業年度まで広げ、重度心身障害者および母子家庭等医療費受給者にも同様に拡大し、医療費負担の軽減に取り組みしました。

農業については、天候による作業の遅れが多かったものの、概ね平年並みの作況となり、水稲では作況指数102の「やや良」となり、地元スーパーでくちちゃん産なつぼしの販売を始めるなど、地産地消にも力を注ぎました。昨年度本町には、約153万人以上の観光客が訪れ、訪日外国人も約30万人に増加し、加え

で過ごすなか、日本の文化と伝統を身近に感じる町であることも俱知安町の魅力のひとつであり、この町に住む我々がそれらを大切にして次の時代へ引き継がなければなりません。

2026年札幌冬季オリンピック誘致に向けての詳細な誘致計画が年度内に作成されると聞いていますが、それを受けJOCが立候補を決定し、閣議決定を得て誘致運動が展開されて2019年にIOCで決定されます。この3月中に策定されるその計画にニセコ山系がアルペン競技の主会場に選定されることが大切であり、今年が第一歩です。札幌冬季オリンピックには俱知安出身の選手が活躍される事も不可能な事ではありません。スキー連盟はじめ関係する皆さんに期待をするところです。

俱知安町は、基幹産業の観光を中心に諸外国から一斉に注目されて明るい兆しが広がっています。常に変化を先取りして新たな価値を創造

て新たなコンドミニアムなどの建設も増え、観光については、今後さらなる発展を遂げるものと確信しています。

3月26日、長年の悲願でありました北海道新幹線が開業します。本町行政区域内でも、14年後の札幌延伸に向けたトンネル工事が今年から始まります。

今後、新幹線、高速道路や冬季オリンピック誘致など新時代に向けて、夢と希望があるまちづくりを積極的に推進し、「世界に誇れる国際リゾート」「安全・安心で住みたくなるまち」を目指しつつ、その中にあっても、健全財政を堅持し、本町のさまざまな事業の課題解決や実現に向け、新たな発想や広域での取り組みにより、住民福祉の向上に努めます。

結びに、本年が皆さんにとりまして、健康で明るく幸せな年でありますよう心からお祈り申し上げます。

し、町民の生活が真に豊かになるよう理念を持って、その信念に裏打ちされた挑戦こそが、地方再生一幕の始まり、俱知安町らしいやり方だと思っています。

まず役場職員は「こんなことにチャレンジしたい」という情熱と、「少しでも町民のためになりたい」という食欲さ。そして、「夢や目標を実現するまで諦めない」という粘り強さを、いつ何時も忘れることなく、しっかりと自分の軸に据えて下さい。私も、皆さんの肩をポンとたたいて「頑張れ」と声をかけます。議会も役場職員も町民の皆さんとともに互いに声をかけあい喜びも悔しさも共有し、将来の世代へとしっかりと引き継いでいきましょう。

最後になりますが、本年が皆さんにとって輝かしい飛躍の年となりますように、そしてご健勝とご活躍を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。